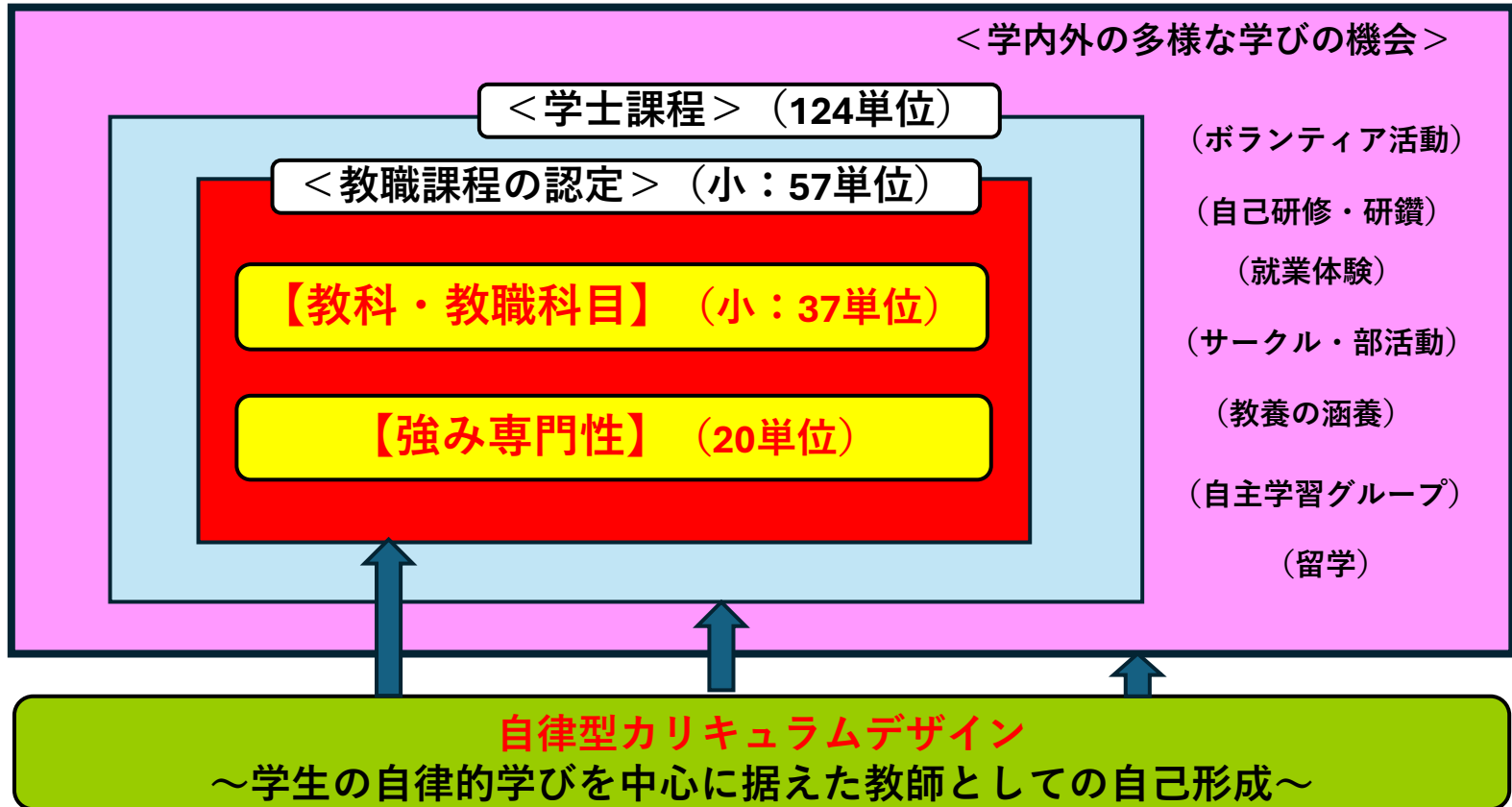


# 教職課程、学士課程と自律型カリキュラムデザインの関係



- 要素：● 「**大学としての人材像、資質・能力観**」の提示～各大学の方針提示（学生の主体的な判断への投げかけ）
- 「**主体としての自己**」の重視～省察的実践者としての行為・主体の先行（「対象としての自己」とのバランス）
- 「自己理解の機会」の重視～自己の特性や資質、価値観・キャリア観、目標とする自己像
  - 「カリキュラムオーナーシップ」の実現～学生自身による選択と体系化
  - 「キャリアオーナーシップ」の実現～生涯キャリアと教育者としての成長の擦り合わせ
  - 「自己調整の機会」の重視～自己成長の軌跡の振り返り
- \* 「シンプルなシステム」の確保～学生にとって、わかりやすく、無理がない仕組みとプロセス
- 「**学内外のインフォーマルな体験**」の包摂～学び続ける自己像の形成へ

教職課程を統括・運営する組織（教職課程委員会など）が企画（参考：教育職員免許法施行規則 第22条の7）